

みでの

永平寺
町議会
だより



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

第70号 INDEX

令和5年5月2日発行

議会と語ろう会報告 P2

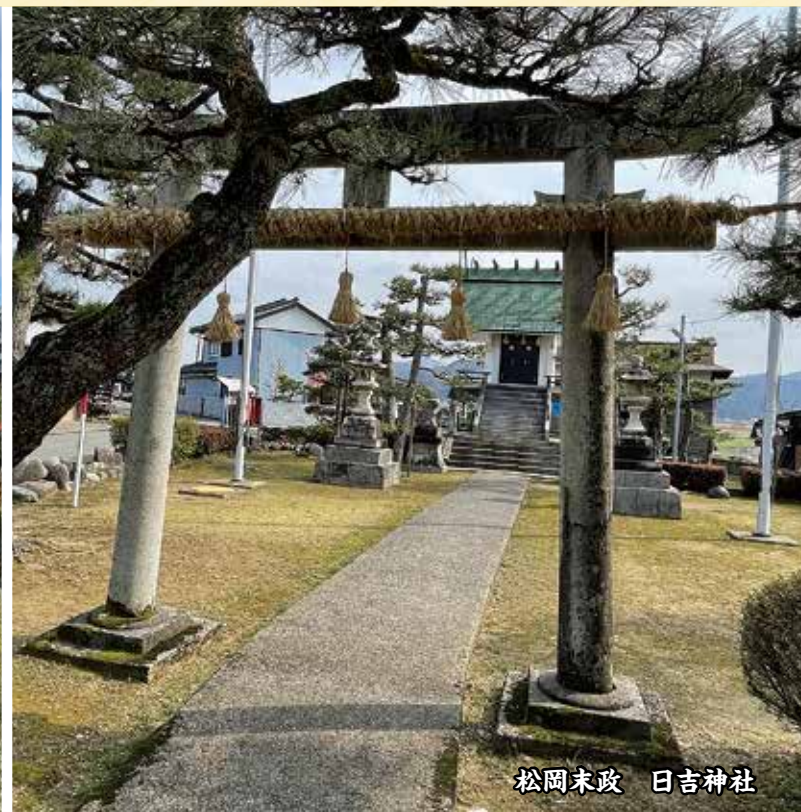
視察レポート 空き家対策 P3

そこが聞きたい! 議員13人が一般質問 P11~17

議会活動レポート P18~19



松岡下合月 日吉神社



松岡末政 日吉神社



松岡上合月 稲荷神社



松岡上合月 日吉神社

特集 空き家対策

視察レポート

地域課題の一つとして 空き家の問題があり、本町の空き家数は333件（令和4年）となっています。全国の自治体では、この空き家を利活用し、移住者を呼び込む取り組みをしています。

福井県美浜町 NPO法人ふるさと福井サポートセンター

この団体は、空き家マッチング事業を10年以上行っている先駆的な所で、代表の北山さんから話を聞きました。土木解体業を営む中、空き家の多さに驚き、残した方が未来につながると思い空き家と住みたい人をマッチングする事業をはじめた。調査を行うと、新たな空き家の増加と老朽化のスピードが想像以上に早く、早期対応が求められる。しかし、所有者が空き家を流通に出すことの決断がなかなかできない。そこで、地元や町・消防署・社協などの協力を得て、所有者が早期決断できるよう取り組んでいる。



空き家マッチング事業は、これまで22回開催し71組マッチングした。しかし、地元になじめない移住者がいたことから、希望者と「所有者」・希望者と「地元・地域」のマッチングにも力を入れている。今後は、空き家予備軍といわれる高齢者の一人暮らし世帯が多く、空き家は一気に増える。この川上といえる予備軍の取り組みがほとんどなされていない。そのためには、地域が動く仕組みづくりが必要と考える。令和3年度から「空き家ゼロチャレンジ宣言集落サポート事業」に取り組んでいる。

令和5年 第1回臨時会報告

令和5年第1回永平寺町議会臨時会は、1月20日（金）に開催されました。審議された内容は次の通りです。

第1回臨時会議案

承認第1号 令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第2号 令和4年度下水道事業特別会計補正予算について	可決
議案第1号 令和4年度一般会計補正予算について	可決		

議案第1号 令和4年度一般会計補正予算について

総額 **498**万円

【主な項目】

舗装補修工事	鳴鹿地係	395万円
下水道事業特別会計繰出金		103万円

主な質疑応答

社会資本整備総合交付金

問 社会資本整備総合交付金が、国の補正予算により4,000万円の交付が内定したとのことだが、この予算はある意味経済対策というのがあると思うが狙いは。

答 町は道路改修を国の支援を受けてやっていきたいと考えており、経済対策とはちよっと違った考え方だと思う。コロナがあってもなくてもあるというところで、毎年補正を組んでいる。

承認第1号 令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について

総額 **676**万円

【主な項目】

防災対策事業	86万円
保育園施設管理諸経費	589万円

主な質疑応答

保育園施設管理諸経費

問 上志比幼稚園のボイラーの取替は、計画的にやっていたのかと子どもたちに迷惑がかかるということになりかねないが。

答 ボイラーで空調している設備は、あと御陵幼稚園と吉野幼稚園の2園となっている。令和5年度に長寿命化計画の改修を検討している中で、子どもたちに影響が出ないような形で修繕をしていく計画を立てている。



議会と語る会

3月2日(木)・3日(金)実施報告

志比北小学校の統合に地域の意見を聞く!!

参加者数 **61**人
アンケート回答数 **76**通(郵送含む)

地域の方々からは、具体性のある多数のご意見を賜りました。ご意見には地域愛に満たされた、正直な心の叫びが語られていました。その中からご意見を紹介します。

反対者意見

子育て世代が家を購入したり、新築する時、近くに親が住んでいたたり、小学校や保育所が絶対条件です。

近い将来学校や保育所が統廃合されるとの噂で、他市町へ移り住む事例もあります。

「学校や保育所の統廃合が地域の若者の流出に拍車をかけている」と人口問題の専門家が指摘しています。

小学校の問題は、北地区の将来に関わる大問題です。

①なぜ、住民の意見を聞かずに決めようとしているのか。

②なぜ、時間をかけずに短期間で決めようとしているのか。

③なぜ、保護者の意見だけを根拠に決めようとしているのか。

④なぜ、保育所の存続を明らかにしないのか。

⑤なぜ、過去の政策や統合後の政策や地域の将来ビジョンを示さないのか。

政治家は住民に対して説明責任と結果責任があります。行政は集落ごとに町長と語る会を開き、上記の疑問点を説明してほしい。

小学校廃校はいつ誰が発案して、なぜどのような経過で推し進めたのか。賛成者は誰で、どんな理由で賛成か、反対者は誰で、どんな理由で反対か。全て記録に残し、公開してほしい。

賛成者意見 1人目

私の思いとしては子どもたちことを考えれば「統廃合致し方ない」というスタンスです。ただし、条件というかセットで北地区の振興施策の提示が必要ということです。

過疎化は今に始まったことではありませんが、地元民だけでなく、これまで何もしてこなかった町政、議会の瑕疵も問題にされるべきです。

その反省点に立った上で、統廃合を語ろうと思えば、必然的に北地区の振興施策方針とセットで提案してくるべきです。これまでに行政は、何か北地区の対応をされた実績があるのでしょうか。全く記憶がありません。

前述の通り、個人的には北地区振興とセットであることを決議で付帯できれば「統合了解」もやむなしと思っています。

賛成者意見 2人目

志比北小学校の再編については、児童と保護者の意見（気持ち）が最優先だと思います。

学校再編は、近年の急激な地域の変化に対応してこれなかった地域の責任であると思います。

その他たくさんのご意見がありましたが、統廃合の抱えている多くの問題点を網羅していると感じました。これらのご意見の発表をもって「議会と語る会」のまとめ的報告とさせていただきます。

〈お詫び〉

賛成者・反対者のご意見は、アンケートより引用させていただきました。アンケートは無記名のため、記載されたご本人に承諾を得ることができなかったことを、お詫び申し上げます。

令和4年度 一般会計補正予算審議報告

一般会計補正予算

総額 **14億885万円**

【主な項目】 ふるさと納税事業 8,552万円
移住定住促進事業 250万円
担い手育成事業 22,976万円

◆総務課
問 企業版ふるさと納税活用支援事業1,431万円とあるが、そもそも審査会にかける事業の条件はどのように線引きしているのか。
また、今回の目標額は約2億円だったと思うが、寄付の募集期間である来年7月に向けて今回の補正と来年度の当初予算の中でどのような計画を念頭に置きながら予算計上しているのか。
答 線引きに関しては、まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標に該当する町の地域活性化に資する事業であるということが基準となっている。
目標を2億円で設定したとして、例えば3,000万円しか集まらなくても、残り1億7,000万円は事業者で用意していただいて、その事業を実行していく取決めになっている。クラウドファンディングと違い、目標に対しての結果に関わらず発行行為を行うことが前提である。

◆農林課
問 輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金ですが、審査はどこで行っているのか。
答 コロナ禍において利用率が大きく変動している。令和4年度は令和3年度実績に基づいて予算要求をしたが、利用頻度がコロナ禍以前に回復している傾向があり今回補正をお願いしている。

◆福祉保健課
問 外出支援サービス事業委託の補正ということで、利用者の増加理由とは。
答 コロナ禍において利用率が大きく変動している。令和4年度は令和3年度実績に基づいて予算要求をしたが、利用頻度がコロナ禍以前に回復している傾向があり今回補正をお願いしている。

◆総合政策課
問 住まいる定住応援支援補助金は、新築と中古住宅の改修とで件数にかなりの差がある。空き家バンク
答 住まいる定住応援支援補助金の中では10万、5万と差があるが、リフォームや空き家に対して建設課から別の補助金があるので活用したい。

◆農林課
問 空家対策という視点から考えると、中古物件でも新築に見劣りしない補助があってもいいと考えられないか。
答 住まいる定住応援支援補助金の中には10万、5万と差があるが、リフォームや空き家に対して建設課から別の補助金があるので活用したい。

◆農林課
問 空家対策という視点から考えると、中古物件でも新築に見劣りしない補助があってもいいと考えられないか。
答 住まいる定住応援支援補助金の中には10万、5万と差があるが、リフォームや空き家に対して建設課から別の補助金があるので活用したい。



輸出向けHACCP等対応施設整備事業

令和5年 第2回定例会報告

令和5年第2回定例会は、2月27日（月）から3月22日（水）までの24日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第2回定例会議案

議案番号	議案内容	議決	結果
承認第2号	令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	
議案第3号	令和4年度一般会計補正予算について	可決	
議案第4号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算について	可決	
議案第5号	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	
議案第6号	令和4年度介護保険特別会計補正予算について	可決	
議案第7号	令和4年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について	可決	
議案第8号	令和4年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	
議案第9号	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決	
議案第10号	令和4年度土地開発事業特別会計補正予算について	可決	
議案第11号	令和5年度一般会計予算について	可決	
議案第12号	令和5年度国民健康保険特別会計予算について	可決	
議案第13号	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算について	可決	
議案第14号	令和5年度介護保険特別会計予算について	可決	
議案第15号	令和5年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について	可決	
議案第16号	令和5年度下水道事業特別会計予算について	可決	
議案第17号	令和5年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決	
議案第18号	令和5年度土地開発事業特別会計予算について	可決	
議案第19号	令和5年度上水道事業会計予算について	可決	
議案第20号	個人情報保護法施行条例の制定について	可決	
議案第21号	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	可決	
議案第22号	行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第23号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第24号	防災行政無線設備の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第25号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第26号	給食センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第27号	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第28号	狂犬病予防法施行条例及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
議案第29号	土地開発基金条例を廃止する条例の制定について	可決	
議案第30号	第二次総合振興計画後期基本計画の策定について	可決	
議案第31号	町道の認定について	認定	
議案第32号	令和4年度一般会計補正予算について	可決	
議案第33号	教育委員会委員の任命同意について	同意	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	
発委第1号	議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決	
発委第2号	議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	

議案への賛否一覧

議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席 棄 棄権) ※議長(中村勘太郎)は採決に加わりません

議案番号	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第11号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第13号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第14号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第20号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
議案第30号	賛	賛	賛	賛	賛	棄	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

*反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等30件については全員賛成です。

総額 **94億4,516万円**

令和5年度 一般会計当初予算審議報告

【主な項目】	公共施設等脱炭素化事業	8,326万円
	移住定住促進事業	2,126万円
	道路消雪設備整備事業	6,332万円

令和5年当初予算 主な項目

◆議会事務局

議会のバリアフリー化について。

議場改修の事例がなく、今後前向きに検討したい。

本町の代表監査委員は会計監査、業務監査、公会計研修など多岐にわたる。報酬アップの検討は。

現状の委員報酬には課題があると思われる。今後、県監査連絡会とも確認しながら対応したい。

◆総務課

新園にかかる異動、退職等変化内容について。

子育て支援課において面接等、丁寧に対応した。

職員のメンタルヘルスの実態はどうか。

健康診断の際にストレスチェックを行っている。該当者は一定数はいらる。把握はしているが対応は一定の効果があるものと考えている。人数については、答弁を差し控える。

先進地視察に係りして、パートナーシップのことは積極的に、地域づくりについては積極的でないということを確認したい。

パートナーシップ宣言だけに特記されているわけではなく、先進地の視察研修は様々な課題で実践して

いる。決して地域づくりやまちづくり関係に研修視察をしていないというわけではない。令和5年度でもあらゆる課題において町の職員も積極的に研修に参加する。

契約管財課

今ある車を更新時に入れ替えていくのか。

全体計画は今後5年間で45台中20台はEV車や低燃費車に変えていく予定だが、条件がそろえば更新時を待たず臨機応変に対応する。



役場電気自動車

◆防災安全課

防犯カメラについて警察から設置要望が上がった背景、意図を知らせて欲しい。

大学周辺の防犯強化のため今後も協議して設置していきたい。

定事業の県主導に対して町の考えは。

県、福井市に対して今後もしっかりと働きかけていきたい。

松岡西幼児園跡地公園化を早々に具体化することは考えられないか。

地目が公園であり、解体が予定されているので、その後の準備態勢をとっていく。

町営住宅の宣伝も必要ではないか。

95%の入居率だが、広報誌やホームページで知らせていきたい。

◆上下水道課

合併浄化槽の見込みや今後の方向は。

法改正で現在は単独浄化槽の生産は行われていないので、今後は合併処理浄化槽となる。耐用年数は10から20年と言われているので今後は補助制度を活用していくことになる。

◆子育て支援課（総務課長対応）

保育士20名の退職のうち、民間園で採用された人数は。民間園への転職はいいが、職員の退職がないようにしたいと言っていたがどうか。

退職した方の次の就職先までは把握していない。新園からその情報はない。個人情報関係もあり、必

防犯カメラの設置補助を積極的に進められないか。

15万円上限で補助率100%で地区に補助している。今後も積極的に進めていきたい。

個別避難計画に基づいた避難訓練の状況は。

福祉避難所での生活訓練を実施した。個別避難計画の対象者は個人の状況に合わせて行っている。

◆財政課

基金は目的をはっきりして積むべきではないか。

各計画に基づき基金投入を設定している。

◆総合政策課

地域コミュニティバスにかかる運行計画について。

ルート変更や時刻調整等はこれまで通り状況に合わせて行う。運行形態については地域に適する導入システムの検討が必要と考えている。

◆コミュニティバスの今後について。

他市町の情報収集をして研究したい。

◆東京型、全国型に区分しての効果は。住まいる定住応援事業補助金の実績と新年度予算の積算は。

両支援とも県外からのUITAI補助であり、東京型より全国型は



みどり葉こども園

要であれば議会の方から聞いたかどうか。

◆民間園の開園で保育士の退職が20名と言つと多い。これでもいいのか。

色々な事情で辞めている。

◆職員のスプレッドシートとメンタルヘルスの件だが、休職者1名。細かい実態が気になる。

答 答えにくいところもある。一定数いるのは事実。近年減少傾向になっている。ストレスチェックも一定の効果が出ている。

◆幼児園こそ性格上、地域に残すべき。どんな小さな園でも。本当にわざわざ遠い所まで預けに行く。子育て世代のお母さんは本当に疲れ切っている。こういう状況では、お母さん方は子どもを持つ気にならないと国の調査でも明らかになつてい

補助要件が緩和され支援しやすい。補助の実績見込みとして、令和4年は60件、新年度は52件を見込んでいる。

◆移住定住について情報発信は。

ホームページや県外で開催される移住フェアなどで対応したい。

◆空き家の対策で思い切った対策を。

移住支援地区は全地区を対象としている。永平寺地区、上志比地区、松岡地区と分けて支援金を設けている。

◆農林課

◆農業担い手育成について。

現在13の農事組合と5つの生産組織があり、それぞれが中心経営体として地域農業の継続に貢献されている。新規就農者育成やアドバンスファーマーなどを行っている。

◆何年か一回ぐらいは他の関連自治体とも協力して「九頭竜杯鮎選手権」を主催か後援しては。

漁協でも色々行っており、町も支援している。

◆主伐再造林、内容と対象と今後

採算がとれるように支援している。

◆酒米の作付面積はどうか。

小麦が食料安全保障の中で受給率を高めており、酒米も同様に対応したい。

◆商工観光課

◆町内の中小企業支援は住民にとっても良い政策だった。定期的にはどうか。

コロナ禍の中で燃料費、資材の高騰が続いているところ。国や県の動向も注視し、町の支援につなげていきたい。

◆本山での宿泊の人数、柏樹關の宿泊数や民泊は。

宿泊施設は他に笑来や永平寺駅前での民泊で長期滞在も受け入れている。吉峰寺では若い移住者による古民家改造での民泊も取り組んでいる。引き続き町も応援していきたい。

◆建設課

◆除雪事業について。

花谷牧福島線については安全のため交通量に沿った消雪整備に向けた水源調査などを行う。清流132号線については交通量や新幼児園の開設に伴い消雪整備を行う。

◆受益者負担金の有無の判断基準について明確化を。

今後、要望や町計画などの判断基準を明確化したい。

◆ロータリー除雪車の歩道除雪について。

より一層の除雪体制を強化したい。

◆市街化調整区域内の地区計画策

い。

い。

い。

答 幼児園のあり方は一般質問で答えた通り。

◆学校教育課

問 島根県にある中山間地域研究センターは中心的拠点。兵庫県香美町の教育長が非常に頑張っており、学校の交流を進めている。

答 リモートワークで130回。行政職員同士、リモートを積極的にしている。町が何もしていないということではない。

問 行政の統廃合地域説明会に集まったのは住民が27名だったが、議会の方はいろいろ頑張っており、住民を65名集めた。そういう点を含めて今後、どうしていくかどうか。前に進むかどうか考えて欲しい。

答 統廃合について予算は、議会からの同意がなければ進められない。

問 我々が視察した香美町、小規模校がいくつか集まって合同で授業をすれば、子どもの数が多くなっても担当する先生が複数いるので、非常にいいと思う。

答 合同の授業では、志比小学校と志比北小学校の交流で、複数の担任が授業をしている。統合について、議会が結論を出さなければ保護者の意向に沿っていききたい。

議案への賛否討論

議案第11号
令和5年度
一般会計予算について
反対討論 上田 誠

当初一般会計予算は直面している高齢化人口減少に歯止めをかけ、共生社会の仕組みづくりが必要。①地域コミュニティ拠点（永平寺地区公民館）の充実②幼稚園の充実を再編でなく地域での子育ての環境の場③小中学校の統廃合は地域衰退と若者・子どもの流出につながる。以上の点から今後の高齢化・人口減少の課題解決に向けた施策の予算が不十分と考え反対の立場を取る。

賛成討論 長岡千恵子

志比北小学校の統廃合事業は当該2校の児童や保護者地域の方々にとっては最重要事業であるにも関わらず、令和5年度の主要事業にも当初予算にも掲げられていない。このことから当該住民の心情を推測し町側も慎重に時間をかけて扱う意向で、令和5年度は事業見送りとし読み取ったので、一般会計当初予算には賛成する。

反対討論 金元 直栄

次の点で予算案に反対する。①

マイナンバーカードに保険証や運転免許証まで付加するというが、情報の流出防止は不安がいつぱい。②職員の研修、地域づくりへ広い視野を持った視察研修が見られない。③町の社会福祉協議会の位置づけと、町の支援体制が見られない。④幼稚園の統廃合、民営化の実施で22名もの保育関係者が退職している。それに100年近い園の閉園は許されない。⑤志比北小や上志比中の統廃合の進め方には大いに問題ありだ。地域に学校を残すことこそ第一に考えるべきなのに、それが全く見られない。等の理由による。

議案第13号
令和5年度後期高齢者医療
特別会計予算について
反対討論 金元 直栄

昨年、高齢者の窓口負担が2倍になったが、年金も少ない高齢者の負担増については認められない。

賛成討論 長岡千恵子

後期高齢者医療保険で昨年10月から医療費の窓口負担額が2割に引き上げられたというが、74歳までの人の医療費の窓口負担は3割

である。75歳になり後期高齢者になることで1割の減額である。医療費に関しては若い人たちの負担増を抑え、後期高齢者医療保険の健全化をはかるためにはやむをえないと考え、賛成とする。

議案第14号

令和5年度介護保険
特別会計予算について
反対討論 金元 直栄

コロナ禍で、介護事業を担う事業所の経営が大変な状況にあるが、これらの支援への方向が見られないことから反対だ。

議案第20号

個人情報保護法
施行条例の制定について
反対討論 金元 直栄

附則第1項にあるように、国のデジタル化の方針の基、国の示す標準化の条例案で、国が自治体の情報についても簡単に集中できる内容となっていること。また、自治体独自の取り組みができないようになることから反対だ。

移住定住促進と地域振興を求めて

総務産業建設常任委員会

委員長 酒井 圭治

請願第1号

「所得税法第56条の廃止を求める意見書採択のお願い」
※本件については所得税法第57条との関連もあり、引き続き検討することとなり継続審査となった。

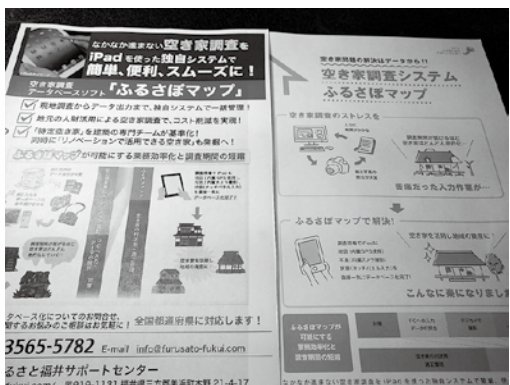
「条例の制定について」は
発委第1号

「町議会の個人情報保護に関する条例の制定」について
※改正後の個人情報保護法施行により町条例の議案が成立したところ、町議会においても新しい個人情報保護制度に対応する必要があるため、あり提案したもの。

発委第2号

「町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定」について
※町行政組織条例の一部改正を受け、総務産業建設常任委員会が所管する委員会条例において「建設課」の次に「えい住支援課」を加えるもの
以上の発委2件を審議した。

新年度に向けての年間研究テーマの一つとして『議会と防災対応』については継続し、総合防災訓練への参加も行う。
『再生エネルギーの活用』については新年度においても研究調査する目的で研修を行う事とした。
『移住定住促進について』は行政においても「えい住支援課」が設けられることから引き続き、人口減少、空き家対策、地域振興による過疎対策等につき検証していくこととした。



美浜町空き家対策研修資料

新年度の活動について

教育民生常任委員会

委員長 金元 直栄

当委員会は3月定例会中の3月20日、6名の委員出席で開催された。当委員会への付託案件はないものの、

に行った行政による学校統廃合の地域説明会、参加者は27名に対し、少しでも多くの意見をとるため、議会実施の「議会と語ろう会」には65名の参加から、行政の説明責任について議論があった。

1 予算案審議の最後に行う行政への提言の成文化を行った。

2 新年度予算案中の深めたい案件、障がい者関連の事業内容を、担当課より次回の委員会に説明を求めることとした。

3 常任委員会の年間研究テーマや事務事業検証の事業名は、次回委員会にて協議することとした。



議会と語ろう会 吉波

4 学校再編の課題では今後、小規模校が多くなることから、多様な学校のあり方について、特認校、特例校、学校間の交流や農山村留学等も含め、学んでいくことを確認した。

5 議会が志比北地区の各集落で実施した「議会と語ろう会」のアンケート等の確認と、その前

そこが聞きたい! 問&答

3月定例会 一般質問

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問 目次

森山 充 … 11P	酒井 圭治 … 12P	朝井征一郎 … 12P
清水 憲一 … 13P	齋藤 則男 … 13P	川崎 直文 … 14P
楠 圭介 … 14P	松川 正樹 … 15P	清水 紀人 … 15P
金元 直栄 … 16P	上田 誠 … 16P	長岡千恵子 … 17P
滝波登喜男 … 17P		

問 ブランド戦略室が設置されて8年ほど経過するが、得られた成果は。第二次永平寺町総合振興計画におけるブランド品の認定件数目標値の達成見込は。
商工観光課長 永平寺町イコール禅のイメージの定着が挙げられる。企業でも禅を取り入れたブランディングや商品作りがビジネスに生かされており、企業を通じて町の発信も行われている。また、「ZEN」は外国人にとって精神性やマインドフルネスという意味合いでも浸透している。本町の禅と結び付けてインバウンドにも大いに作用している。更に、商品を対象とした「SHOJIN」ブ

問 新幹線開業のイベントを活用した観光誘客の手段としてのブランドの活用方針は。
商工観光課長 開業前イベントにおいては、メディアとか旅行会社への働きかけ



「禅」の使用例

問 ブランド戦略室の成果

答 禅のイメージ定着

ブランド認定を行っており56品目の認定実績がある。振興計画では令和8年までに60品目を目標としているが、年に2品目のペースで認定していることから目標達成は見込める。今後は商工会、観光物産協会と連携し、町の資源特性を生かした商品を磨き上げていく。

が重要となってくる。禅ブランドをしっかりと売り込むことと、大本山永平寺の禅を起点とした食や体験、地域の産物、その他の観光施設など次の行動への動機づけられるよう滞在時間と観光消費額の拡大も勘案した形で関係者と協議しながら取り組む。



森山 充 議員

議会・行財政改革特別委員会報告

委員長 滝波 登喜男

- 当委員会は1月30日開会した。議員のなり手不足への取り組みとして、入項目に課題整理し、協議した。
- 1 議員報酬**
 - ・報酬額の算出方法は他町との比較を考慮しつつ、活動日数から算出する原価方式を採用する。
 - ・特別報酬審議会への諮問など、スケジュール案を次回提案する。
 - 2 政務活動費**
 - ・語ろう会では一定の理解があったが、不正利用が相次いでいる。議員報酬と合わせて協議していく。
 - 3 議会活動**
 - ・議会と語ろう会を早急に実施すべきである。
 - 4 地域割り**
 - ・選挙は一票の格差の問題があり、慎重に考える必要がある。
 - 5 仕事（兼業など）**
 - ・仕事と議員活動が両立できるよう、日程の工夫が必要。
 - 6 若者・女性**
 - ・今の若者は見返りがいいことはいらない。明確な見返り・魅力が必要。
 - 7 後継者**
 - 8 政治の無関心**
 - ・議会に対する町民の意識調査をしてはどうか。

学校再編検討特別委員会報告

委員長 齋藤 則男

学校再編に対する町の動き

- ・令和4年6月 学校再編の素案を議会へ提出。
- ・令和4年11月11日 志比北小学校・幼稚園の保護者と意見交換を2回開催。
- ・令和5年1月5日 PTAだけで集会を開催して「再編やむなし」の結論。

議会の対応

- ・町と保護者の意見交換会の傍聴は許可されたが、発言は許可されなかった
- ・令和5年3月2日・3日 志比北地区下浄法寺・殿村・上浄法寺・岩野・吉波・栃原で「議会と語ろう会」を開催。地区により参加者数に差はあったが、延61人の参加があり、アンケートには76通の回答が寄せられた。

保護者同意後町の提案

- ・保護者会の結論を受けて「志比北小学校は令和6年4月に志比小学校に統合」。
- ・地域・保護者・議会のそれぞれで賛否が分かれている。

「議会と語ろう会」開催での反省

- ・もっと早い時期に「議会と語ろう会」を開催すべきであった。
- ・早い時期に開催できなかった要因として、コロナ禍により、一部議員から開催に関して異論があった。
- ・「議会と語ろう会」を開催して、76通ものアンケート回答を頂き、理路整然と書か

れたご意見があり、住民の心の叫びを耳にした。

学校再編検討特別委員会の審議事項

- ① 結論がいずれになっても大きな不満が残る。この状況に議会は簡単に結論を出していいのかという疑問がある。
- ② 学校の再編で町が二分されかねない。極めて取り扱いは注意が必要。

前記2項目を踏まえて、学校の再編については、多数決で決めるようなことではない。「議会と語ろう会」で得た住民の「生の声」に十二分に答えなければならぬ。

議会内の問題点や課題を整理し、個々の課題について住民が納得できるように解決策を論議することが必要。

小規模校が存続していくための施策として、「小規模特認校」・「特例校制度」・「学校間交流」・「農山村留学」など多方面にわたる研究が必要。



議会と語ろう会 殿村地区

五松橋につながる
相生橋付近の整備計画は

先行整備も含め、引き続き事業化を要望



酒井 圭治 議員

問 県道110号北野松岡線整備で一部先行して相生橋付近を拡幅する考えは。

の交通対策は。

建設課参事 以前より、五松橋架け替えとセットで一つの事業として県に道路の拡幅を要望してきたが、令和4年度からは五松橋と相生橋付近の整備を切り分け、別事業として9月には福井土木事務所に対して要望を行った。

総合政策課長 運行地域外での近助タクシーの導入については、公共交通という側面と地域活性化の2つの要件を満たす必要がある。一つは導入エリアが公共交通機関の利用が困難な地域であること。二つ目には、地域が運営主体となつてドライバーの確保、交通弱者の日常に寄り添うサービスであることが求められる。地域の理解と協力が必要となる。

五松橋については現状は耐震補強も済み、定期点検での損傷はなく架け替えの計画はない。指摘の区間については今後も先行整備も含め、引き続き県に事業化を要望したい。



相生橋

町長 今後は地域振興

会も含め行政としても研究しながら前向きに取り組んでいきたい。
問 えい坊割の経済効果と今後の対策は。
町長 物価高騰への対策として社会状況を見据えて、しっかりと対応したい。

【その他の質問】
問 危険家屋の今後の対策は。
答 相続放棄人への管理通知の送付、周辺住民への立ち入り禁止などの注意喚起を行うほか、県や他市町の特定期空き家対策の意見も取り入れ検討したい。

空き家の増加抑制、利活用策として

空き家バンク登録拡充を



朝井 征一郎 議員

空き家対策について、空き家の抑制、利活用策として、所有者に対する支援策など、老朽家屋など解体費用を免除する事ができる空き家対策特別措置法に基づく、町の空き家の総数は。

建設課参事 令和4年度、松岡172件、永平寺87件上志比74件。アンケート調査によると、当面は現状のまま物置等として42%、利活用21%、解体18%、再利用10%になっている。

住民税務課長 空き家が増えたり、人口の流出、また空き家の利活用を今後、えい住支援課、建設課、総合政策課がこれまでの取り組みをいろいろミックスさせて、成果を2倍、3倍となるように頑張っていく。

問 住宅を除去した場合、土地に係る固定資産税の減額がなくなる事が、空き家の増加の原因ではないか。空き家を解体した後、固定資産税の税率軽減はできるか。

問 振興計画に基づき、宅地造成と企業誘致などで、今年度から「えい住支援課」が設置され、各課の連携で活性化が期待できる。人口減少にならないようにトップセールスを目指して頑張ってください。

問 本年度における町として目指す重点施策、特に力を入れたい事業等は。
財政課長 令和5年度当初予算重点事業という事で、41事業を提示した。すべて町民のための事業となる。



新年度の予算から

上志比地区に5460万円の予算



齋藤 則男 議員

問 町の教育環境、学校教育について、他の市や町と比較し、劣っているのか。今再編しないと大変なことになるのか。
教育長 生徒数が減少して、小規模校になった場合、本当に教育効果があがるような、教育ができるか心配しての再編案。

問 過疎債が発行されている。その目的について。
財政課長 過疎地域における財源の不足分を、国が認めた。

問 学校の再編統合について
町長 地域の振興については、地域の皆さんと話し合っていきたい。

問 今冬においてはX字交差している踏切や交差点にて事故が発生したが、優先度を上げて改修できないか。
町長 除雪の優先順位に対する考え方は、社会に合わせた変えていくので、理解いただきたい。

要望 過疎地域に自動運転走行事業



自動運転走行事業

【その他の質問】
問 この冬の除排雪の状況と反省について。
答 県は、みどりのスコップ運動をしているので、イメージしている。

問 現在、各地区において個別避難計画を作成中だが、進捗状況と問題点は。
防災安全課長 本年2月末現在で53集落150名の個別避難計画を作成中。完成目標は令和7年度末。



個別避難計画勉強会 浅見

問 日中の避難時においての人数の確保。重度介護者の移動など難題と思うが、何かアイデアはあるのか。
防災安全課長 どのようにして、そのような対象者を避難させるかというところが非常に重要。令和3年から始まって手探り状態。どこの自治体も同じような問題が出てきていると思う。町の防災

問 今後の避難時においての人数の確保。重度介護者の移動など難題と思うが、何かアイデアはあるのか。
防災安全課長 年に1回関係各課により調査を行っている。令和4年においては、危険箇所

問 避難時においての人数の確保。重度介護者の移動など難題と思うが、何かアイデアはあるのか。
防災安全課長 年に1回関係各課により調査を行っている。令和4年においては、危険箇所

問 避難時においての人数の確保。重度介護者の移動など難題と思うが、何かアイデアはあるのか。
防災安全課長 年に1回関係各課により調査を行っている。令和4年においては、危険箇所

問 避難時においての人数の確保。重度介護者の移動など難題と思うが、何かアイデアはあるのか。
防災安全課長 年に1回関係各課により調査を行っている。令和4年においては、危険箇所

地域資源を活用した雇用の創出は

問 新規就農・企業誘致・観光業の推進で

問 地域資源を活用した安定雇用の創出の目標で町内就職者数を、2024年度までに累計で800人増加させるとしている。状況は。

商工観光課長 町内就職者数の増加は、2023年1月までの累計で525人。2024年度の目標値の累計800人は達成の見込み。

問 町内での従業員数をさらに拡大する施策、町民の雇用に結びつための施策の実施状況は。

農林課長 新規就農に関する支援等の取り組み件数の目標値が2024年度、10件。2022年度までの実績は12件で、目標はクリア

している。新規就農希望者への情報提供、県園芸カレッジとの情報交換、営農組織への雇用就農を引き続き推進する。

総合政策課長 町外からの企業誘致件数の目標値が2024年度、3件。2022年度までの実績は1件。(福井北インターチェンジ付近の物流センターの進出。)

問 コロナ後に焦点を合わせた観光施策は。

商工観光課長 新しい働き方、ワーケーション



川崎 直文 議員

の造成に取り組んでいる。

観光物産協会が企業版のラーニングワーケーション(禅ワーケーション)を行った。ワーケーションで来町された方が楽しめる体験コンテンツとして九頭竜川を使ったツアーを町内の関係団体と進めている。



九頭竜川を中心としたアクティビティを活用したツアー(釣り、カヤック・坐禅) 2022年9月

地域づくりの担い手は

答 新しい環境を作っていく

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に「町内各地で若い世代が地域づくりの担い手となるよう、組織の設立や活動を支援」とあるが、進捗状況と課題とは。

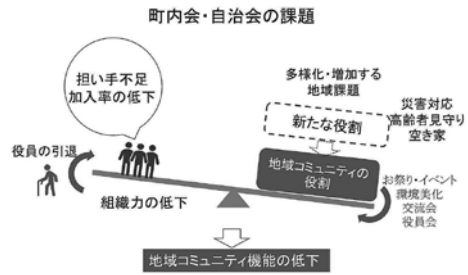
生涯学習課長 今年度から取り組んでいる「わかまちプロジェクト」は若者や学生の地域参画意識や活動意識を高め、自主的な活動を進める人材が生まれるよう来年度も継続していく。また、数年後に若者世代となっていく中高生、小学校高学年については、子ども会育成連絡協議会の一組織であるジュニアリーダーズクラブで、子ども会の役員の皆さんと共に若い芽を育てて

いきたいと考えている。

問 地域の担い手づくりという視点で見ると、既存の地元自治会とどう繋げていくか、どう連携させていくかが大きなポイントであるように感じるが。

生涯学習課長 ひとつひとつの自治会と若い年代を繋げていくことは行政主導では難しい。地域づくり講座などを開催して、若者を地域に取り込むヒントを住民の皆さんにまずは伝えたいと考えている。

町長 若い人の地域活動への参画は町の大きな課題であると認識している。入口として、子どもや若い人の提案・アイデアに大人が



楠 圭介 議員



議会と語る会 梶原

統廃合見直し論6点

答 素案が私の決断

問 再編に反対というよりむしろ、見直していただきたい。その6点を申し上げる。まず①番目、学校問題で取るべき答は「廃校しない統合」である。少子化が進むと少人数教育の不安が生じるが、学校の廃校は地域の未来を左右する。この典型的ジレンマが解決されないまま統廃合だけ

が決められていくのが今回のパターン。誰も不幸にしない「廃校しない統合」というのがある。普段は少人数で授業を行いながら一部を複数の学校で合同授業(主に音楽と体育)を行う工夫をする。②番目、学校がなくなるのと地域が寂れるので、同時並行で地域振興策を実施する。③番目、

そもそもなぜ統廃合なのかの議論が皆無だったので、きちんと議論してほしい。ここから逃げていたので今回の混乱がある。④番目、町の打ち出している統廃合は自滅に向かって突進しているようなもの。縮小が縮小を引き起こす。町の児童・生徒数の推計表を見れば



松川 正樹 議員

すぐわかる。展望に希望が見えない。⑤番目、町に本気度が無い。町長に牽引力がないと批判されている。⑥番目、3つの中学校を最終的に1つにするというが、松岡中学校を想定している。これが一番の混乱を招く。

町長 私たちは再編を強引に進めていない。唐突でもなく、住民の皆さんの意見を求めて、教育委員会から諮問した。次の段階なので議会として早く話をまとめてほしい。統廃合を正式に決めていないので、廃校後の利活用については言えない。私の意見がないと言いが、素案が私の決断。

防災対策の充実について

答 防災訓練と情報共有

問 防災自助、共助機能を支えていくための公助は。

防災安全課長 防災関係のシステムが被災した場合、ラジオやテレビ、または広報車による被災情報を周知する。

問 対策本部が被災した場合の対策は。

防災安全課長 対策本部を支所に代替する。なお、職員は本庁や最寄りの支所避難所への参集訓練を実施している。また、テレビ会議や衛星電話で連絡を取り、情報の

共有を行う。**問** 避難所についての取り組みは。**防災安全課長** 各指定避難所施設は耐震補強が完了している。体育館のガラス飛散防止対策にも取り組んでいる。福祉避難所では減災ナースが身体と心のケアを実施し災害関連死の防止に努める。現在、NPO法人「はあもにい永平寺」と協定を結んでいる。

まろは登録!!
パソコン登録サイト: https://service.sugumail.com/eiheiji/member/
携帯電話・スマートフォン登録サイト: https://service.sugumail.com/eiheiji/
バーコード読み取り機能のある携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は、QRコードを読み取ってアクセスすることができます。

◆観光振興の充実について

問 北陸新幹線開業を見据えた取り組みについて。

商工観光課長 販売促進会議や北陸デザインセッションキャンペーンを生かし、情報

提供、観光発信に努める。またターゲットを絞った発信も行っていく。インバウンド観光の推進では、門前街を中心に、インバウンドセミナーと翻訳アプリで接客疑似体験、免税店登録に向けた事前確認・調査などを行っている。

問 観光客増で関係人口、交流人口増に伴い企業が増える可能性がある。追加支援はあるか。

商工観光課長 移住・創業希望者に永平寺町を選んでもいただく施策として、創業補助金を新設した。特に上志比での創業支援は上限2倍に設定、産業活性化、雇用拡大に努める。

問 幼児園の統廃合こそやめるべき

答 再編検討委員会の答申による



金元直栄 議員

問 周辺地域の幼児園だからこそ旧永平寺の3園を一つにするなどの統廃合だけはやめるべきだ。国の調査でも、子育て中のお母さんは疲れ切っているという報告がある。

答 保育所の設置目的は「身近なところに園を」だ。

子育て支援課長 幼児園の再編は、今は学校の再編を見守っている。再編検討委員会の答申があり、その点も考え再編を進めていく。

◆地域の学校、残すための研究はされたのか

問 志比北小の統廃合を町は強引に進めているが、進め方には

問題が多い。保護者が決めた地域に諦めを求め、子どもの数が極端に減ったから子どもがかわいそうと同情論で。住民説明会への参加は極端に少なく、これで地域の同意を得たと思っているのか。

教育長 参加が少ないというが、2週間前に各戸配布し、公平性確保へ区長等への出席依頼はせず、参加は住民の意志と考えている。進め方や内容では、教育委員会として児童に一番近い保護者の意見を最優先としている。

問 学校のあり方として、特認校など、学校を残す多様な研究はしてきたのか。

教育長 特認校も説明したが、本町の児童数

では無理がある。

◆越坂トンネル、生活路線としての確保を

問 中部縦貫道が工事のため2月末から3月にかけて長期間の通行止めが実施されたが、越坂トンネルは縦貫道ではなく、勝山街道のバイパストンネルとして建設された。また、大雪の時こそトンネルの通行は確保すべきだ。

建設課長 越坂トンネルは重要な生活道路として認識している。国交省との話し合いで、今年度は改善された。今後も対応していく。

問 空き家は個人財産の問題であるが、困っているのは地域住民である。地域の問題だと認識してもらうこと。その上で、できることを一緒に協議することが必要である。空き家は333件あるが、その予備軍は相当数あると思われる。早期決断が使える空き家となる。社会福祉協議会などの団体の協力も必要。売り手と買い手をマッチングさせる積極的な活動や専門職員の配置などの体制も整える必要がある。

問 志比北小保護者に再編案を11月11・21日に初めて説明し、30日にPTA役員と協議し、保護者会としての可否を求められ、12月15日に統廃合賛同を決めた結果となった。これはこの難局に対して十分に話し合う機会も時間も場も、まして住民との相談も与えられないまま1ヶ月で可否を出さざるを得ない進め方には問題があるのではないのか。



議会と語ろう会 吉波

町長 素案に対しての議会の意見を求め、その回答に従って進めている。強引に進めていない。

教育長 7年度以降を提案したが6年度という回答をもらった。

問 2月7・8・9日

問 学校再編の進め方に問題あり

答 議会の意見を真摯に受け止める



上田誠 議員

問 地域の幼保園や小学校がなくなると地域の衰退を招き、地域から若者や子どもが消えると言ってきた。住民と相談したのは3日間。1ヶ月で議論を出しても良いのか。再度話し合う必要があるのではないのか。

町長 ここまで来たので議会としての意見を真摯に受け止める。

【その他の質問】問 地域共生社会の実現に健康長寿延伸プランを。

答 介護予防・フレイル対策・認知症対策で健康長寿の延伸に対応していく。

問 ポジティブ教育プログラムの実践は。

答 5年度より中学校区で検証しながら取り組む。

問 志比北小学校の将来は

答 議論をして最適解を

問 不登校特例校と小規模特認校の違いは何か。

教育長 不登校特例校は不登校の児童が通う学校で、小規模特認校は少人数の学校で一定の条件の下、町内対象の児童生徒が自由に通学できる学校となる。

問 小規模校の将来について、小規模校が小規模特認校の指定を受けることで、存続できるという選択肢の説明が、志比北小学校の保護者及び地区説明会で必要ではなかったか。

町長 は説明会で柔軟に対応するとしているが、どこまで柔軟に対応するのか。

町長 統合が前提ではなく、保護者の皆さんの声を聴いた中で柔軟



えい坊館

◆えい坊館の活用を

問 町民はえい坊館一階のフードコート

問 志比北小学校の統合は、進め方や進み方で白紙になるのか。

町長 いろいろな議論をして最適解を見つけたい。

に。何が何でも私たちの意見ではない。特認校が必要なのか、志比北小学校を特認校にするのか、提案してもらえれば議論をしたい。

問 志比北小学校の統合は、進め方や進み方で白紙になるのか。

町長 いろいろな議論をして最適解を見つけたい。

問 町民はえい坊館一階のフードコート



長岡千恵子 議員

開を待ち望んでいる。委託業者が再開できないのなら、業者を変えてはどうか。

商工観光課長 飲食スペースの再開、運営については引き続き検討していく。

問 高齢者が増加していく中で健康寿命を維持するには楽しくおしゃべりできる場所の確保が必要。出会いの無い若者の出会いの場となる場所にえい坊館の活用をどうするか。

町長 福祉を含めた多方面の観点で検討する。

【その他の質問】問 将来的に自動走行はどうするのか。答 観光に活かすことも大きな素材。

問 空き家対策で移住者増を

答 人口動態を分析し施策展開する



滝波登喜男 議員

問 空き家は個人財産の問題であるが、困っているのは地域住民である。地域の問題だと認識してもらうこと。その上で、できることを一緒に協議することが必要である。空き家は333件あるが、その予備軍は相当数あると思われる。早期決断が使える空き家となる。社会福祉協議会などの団体の協力も必要。売り手と買い手をマッチングさせる積極的な活動や専門職員の配置などの体制も整える必要がある。

町長 空き家バンクの登録により成約が年々伸びている。新年度から「えい住支援課」を設置し、移住・定住支援を専門に行っていく。

◆それでいいのか、志比北再編の進め方

問 志比北小学校区の地区対象に「議会と語ろう会」を開催した。区長の協力をいただき、議員が戸別訪問し参加を呼びかけた。教育長は「地域に丁寧

に説明し、理解いただく」と言っているが、

【その他の質問】問 不適切保育園の対応は。答 新園園長も含めて、園長会で指導。



3/19 中部縦貫自動車道大野油坂道路開通式

於：大野インター

中部縦貫自動車道の大野インターから勝原インターまでが開通した開通式には中村議長が臨席



3/30 新潟県燕市 「会派 新風つばめ」視察受入

視察テーマ：「大本山永平寺とのまちづくりについて」
永平寺門前の再開発を中心に視察



4/1 みどり葉こども園 入園式

於：みどり葉こども園

本町初の民営こども園の開設、入園式を挙行
入園式には中村議長が臨席



4/12 杉本知事来庁

於：本町円卓会議室

杉本知事が永平寺町議会を訪れ、次の4年間の抱負を語った



令和5年3月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、5月1日(月)から5月20日(土)頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。
議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。

3月議会 再放送日程

5月1日(月)～5月20日(土)
ごろまで毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～
約2時間番組

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



1/31 教育民生常任委員会視察

視察先：福井県敦賀市 東浦小中学校 視察テーマ：「学校再編と小規模特認校の取り組み」

2/1 視察先：兵庫県香美町

視察テーマ：「小規模校間連携による多様な学習活動の展開」



2/14 総務産業建設常任委員会視察

視察先：福井県美浜町
NPO法人ふるさと福井サポートセンター
視察テーマ：「移住促進・空き家対策」

2/15 総務産業建設常任委員会視察

視察先：京都府南丹市
視察テーマ：「定住促進の取り組み」



3/12 はたちのつどい

於：上志比文化会館サンサンホール
全町の二十歳を迎えた若者のつどいを開催
懐かしい友との再会にタイムスリップした一日となった





議場で傍聴できます!!
ぜひお越しください!



役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもご
ざいます。
事前申込み不要。
お気軽にお越し
ください。



3F入口



1F入口

■ 6月定例会 (予定)

- 5月29日(月) 10時～ [本会議]
- 6月5日(月) 10時～ [一般質問]
- 6月6日(火) 10時～ [一般質問]
- 6月7日(水) 10時～ [一般質問]
- 6月8日(木) 9時～ [本会議 第1審議]
- 6月9日(金) 9時～ [本会議 第1審議]
- 6月13日(火) 9時～ [本会議 第2審議]
- 6月14日(水) 10時～ [本会議 第3審議]
- 6月15日(木) 予備日



一般質問中



審議中

議会のホームページもぜひのぞいて!



トップページ

議会メニュー

町議会ガイド

議員紹介・委員会構成

議会改革

議会活動レポート

議会だより

キッズページ

議員の横顔



議会日程や議事録が閲覧できます。
議員の意外な横顔も!?

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>



編集者のひと言

初詣の際におみくじを引くようにしています。今年の運勢は「大吉」でしたので、そう悪い年でもなさそうです。議員になりましたが、昨年の運勢も大吉でしたので再現性有りですね。そんなに変化はなさそうです。

さて、この情報誌の編集委員となりましてので表紙の写真を考えてみました。神社には定期的に訪れておりますし、古い集落ならどこにでもありそうなので、地域の紹介にもなると思います。町内に神社がどのくらいあるのかを聞いてみると「80くらいあるのでは」とか「もっとある」とか「一つの集落で3つあるところもある」とか様々な情報をいただきました。

4コマ漫画風に紹介しても、コンプリートするにはかなりの長寿企画となりそうです。とりあえず近場から始めてみました。「4コマ神社」の始まりです。(森山 記)

議会広報特別委員会

- 委員長 長川 直文
- 副委員長 長岡 千恵子
- 委員 酒井 圭治・森山 充
- 委員 滝波登喜男・松川 正樹
- 委員 楠 圭介

発行責任者

- 議長 中村 勘太郎